

■活動レポート

第2回岩手県立博物館まつり「うんとたのしもう!! わくわく はくぶつかん!!」

日時：平成21年9月23日 9:30～16:30

会場：館内・レンガ広場・芝生広場・民家・県博ブリッジ

学芸調査員 熊谷道仁

1 様子

あいにくの雨模様にもかかわらず、多数の家族連れや年配者が訪れた秋分の日の博物館。昨年度に引き続き、盛岡市、紫波町、矢巾町、八幡平市、滝沢村をはじめ、二戸市から花巻市周辺の小学生約35,000人1人ひとりにチラシを配布したほか、県内すべての小学校にチラシを配りました。来場者の約90%がチラシをみて県博まつりを知ったとの調査報告。また、県外からの来場も見受けられました。のべで約7,700名の老若男女がそれぞれの「県博まつり」を満喫したようです。

全館あげての協力体制でスクラムを組んだ結果、各コーナーの対応は大幅に改善されました。「楽しかった」「来年も来ようね」「素晴らしい企画ですね」といった声があちこちから聞こえたとの報告に安堵と感謝が同時に去来しました。

大きなクレームもなく、無事終了することができたのも、ボランティア各員が、それぞれの持ち場で各々の能力を最大限に発揮したことが要因として挙げられるでしょう。博物館友の会、盛大、県大、岩大、市立高、一般のみなさん方、約60名のボランティアスタッフの方々本当にありがとうございました！

今年度は、燻蒸期間と企画展のはざま、かつ翌日が休館日（後片付けの関係から）の日ということで、5連休の最終日の設定になりました。来場できなかった方によると、さすがに連休最終日は、「さあ、博物館へ！とはなりませんよ。休日ですからね」との声も。行きたくとも日程があわなかった家庭もあったとのこと。次年度以降は、来場しやすい晴の日が確実な!?休日に設

定する予定です。直近に開催される展覧会との共催も検討中。今から、来年度の「第3回県博まつり」をご期待ください。

2 内容

①伝統ある硬派な総合博物館、②豊かな自然との調和、③経験豊かなスタッフ、以上3点が当館の特色です。ですから、「日本一の博物館イベント」として「県博まつり」を企図した次第。岩手県立博物館でなければできないこと、来場者のどの層も満足させること、「やっぱり博物館ってすごい」と感じてもらおうこと、いささか壮大すぎる感じもしますが、以上のような観点から内容を精選しました。岩手の食販売、郷土芸能、コンサートは大人も十分に満足できたのではないのでしょうか。

「こはくの玉づくり」と「化石のレプリカづくり」コーナーの申込には長蛇の列ができ、火おこしや石臼ひきも人気が高いコーナー。重要文化財である民家で実施した「昔あそび」も約900人が参加しました。その他、約20のコーナーが多くの人で賑わいました。

3 願い

県博まつりは、子どもたちの足を県博に向かわせる動機付けとなります。1人でも多くの子どもたちが、将来にわたって博物館で学んで欲しいという願いとともに、日本の将来の発展に寄与する人材育成の端緒となるかも知れないと考えるとワクワクします。

県博職員が、直に来場者と触れあえ、博物館をもっともっと身近に感じてもらうのが「県博まつり」。各コーナーで、心のかよった交流ができたことと確信しています。

1年に1度、110名をこえるスタッフが丸一となって燃え尽きた一日でした。



土偶づくり



栗石高校 さんざ踊り



昔あそび わりばし鉄砲



土器づくり



こはくの玉づくり

撮影 岩手県立博物館友の会会長 赤澤義昭氏